

## 平成 29 年第 15 回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 平成 29 年 12 月 25 日（月）午後 2 時開会

2 場 所 五和農業情報センター マルチメディア研修室

### 3 本会議に出席した教育委員

委員 長	花 里 昌 直	委員長職務代理者	黒 鶴 進 治
委 員	行 合 八 恵子	委 員	木 下 えり子
委 員	蓑 田 え り		

### 4 本会議に欠席した教育委員

教 育 長 石 井 二 三 男

### 5 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	森 下 洋 一	教育総務課長	柴 田 和 人
学校教育課長	山 本 洋 介	生涯学習課長	菅 原 弘 晃
学校給食課長	川 端 浩 二	学校教育課審議員	沢 村 祐 介
教育総務課施設係長	伊野上 乾 悟	教育総務課課長補佐	出 永 圭 史

### 6 本会議に付した議題等

#### (1) 審議事項

議第 4 4 号 臨時代理事項の承認について (教育総務課)

#### (2) 協議・報告

(1) 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の天草市における結果について (学校教育課)

(2) 教育力活性化推進大会の開催について (生涯学習課)

(3) 学校統合に係る協議結果について (教育総務課)

(4) 平成 30 年 1 月行事予定について (教育総務課)

### 7 本会議の概要

#### (1) 開会

花里委員長： ただ今から、平成 29 年第 15 回天草市教育委員会定例会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

#### (2) 前回会議録の承認

花里委員長： 前回会議録の承認であるが、何かご意見はないか。ないようであれば承認してよろしいか。

(全員承認する。)

#### (3) 教育長報告

石井教育長： 教育長欠席のためなし

(4) 議案

議第44号 臨時代理事項の承認について

花里委員長： 事務局より説明をお願いします。

柴田教育総務課長： 議案書1ページをお願いします。12月5日に開会した平成29年第4回市議会定例会において、12月8日に平成29年度天草市一般会計補正予算(第5号)の追加提案があったが、教育委員会の会議を招集する時間的余裕がなく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項及び天草市教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定により臨時に代理したため、同条第3項の規定により報告し承認をお願いします。今回、臨時代理の承認をお願いします平成29年度一般会計補正予算(第5号)については、第4回市議会定例会に同日付で追加提案がなされた天草市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定にともない、平成29年8月8日の国の人事院勧告等を参考に職員の給与を改定するための人件費補正分である。定例会資料の1ページから3ページにかけて給与改定等の概要を添付している。今回の改定の概要は、国の人事院勧告を参考に民間給与との格差0.15%を埋めるため、職員の給料表の水準を引き上げるとともに、勤勉手当については年間0.1か月分を引き上げる。教育長については、期末手当のみ年間0.05か月分を引き上げるものである。今回の補正額であるが款9教育費全体で4,816千円の人件費分の追加となる。

花里委員長： 何か質問はないか。なければ、議第44号について承認してよろしいか。

(全員承認する。)

(5) 協議・報告

(1) 平成29年度全国学力・学習状況調査の天草市における結果について

花里委員長： 事務局から説明をお願いします。

山本学校教育課長： 資料5ページをお願いします。本調査の目的、内容等については1から4に示してあるとおりである。5(1)ア調査結果の概要であるが、小学校は全ての教科において全国平均を上回っている。しかし、中学校については国語A・Bが全国平均とほぼ同じ、数学A・Bが下回る結果となっている。昨年度の本市の状況から考えると、全体的に改善の傾向がみられるが、中学校の数学については依然として課題があると捉えている。次に5(1)イの教科別調査結果について説明する。表において網掛け太字部分が全国または県平均を下回っている領域や観点となる。小学校国語Aでは、書く・読むがやや低くなっているが、これは昨年度と同じ傾向である。一方、話す・聞くは昨年度と比べ改善の傾向がみられる。6ページをお願いします。小学校国語Bは概ね全国及び県平均を上回っていた。また、小学校算数Aは全ての領域・観点で全国及び県平均を上回っており、良好な結果であった。算数Bについては、量と測定、図形の領域が下回っているが、これも昨年度と同様の傾向である。次に中学校についてである。国語A・Bとともに話す・聞く・読むについて県平均は上回っているが、全国平均よりやや下回っている状況である。数学Aについては、先ほどの小学校算数Aと反対に全ての領域・観点で全国及び県平均を下回っている。これは昨年度と全く同じ傾向であり、引き続き本市の課題であると認識している。次に7ページ(2)教科調査において、特に全国や県平均と顕著な差がみられた問題について説明する。まず、小学校国語Aでは俳句の情景を捉える問題について課題がみられる。対策については、熊本県や天草にゆかりのある歌人や俳人、天草の景色を詠んだ歌や句などを教材として開発することも有効であると考えている。8ページをお願いします。中学校数学Aについては、この4問が特に課題であるが、決して難易度の高い問題であるというわけではない。授業において学習内容の定着を図る場を位置づける必要がある。9ページをお

願いする。数学Bについては、数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することに課題がみられる。この式の意味を読むことは小学校低学年から意識して授業で取り扱うことが重要である。次に（３）ア児童生徒に対する質問紙調査について説明する。基本的に全国・県と比較して差が顕著な項目、特に４段階中の当てはまる割合に注目して抜き出している。特に小学校で良好な結果であった項目は、休みの日の図書室の利用、家庭での復習、地域行事への参加、１０ページの地域のボランティア活動への参加などである。中学校の良好な結果であった項目は、これも小学校と同様に地域行事への参加、地域のボランティア活動に加え、１１ページにある授業で話し合う活動、ノートへの目標・まとめの記述などとなっている。小学校・中学校とも地域との関わりに関する項目が良好であった。地域とともにある学校づくりについて、今後もまたより一層推進していきたいと考えている。一方、課題となった項目については１１ページの下段から１２ページの上段に記載のとおりであるが、小学校では特に無かった。中学校では平日の学習２時間以上、休日の学習時間３時間以上の生徒が少なかった。この項目は昨年度から引き続いての課題であり、学力の定着状況にも影響している可能性が考えられる。家庭学習の在り方について、各学校の実態に応じ対応策を考えていく必要がある。なお、資料には記載していないが、全国的な調査で明らかになった高い成果を上げている学校の７つのポイントのひとつ目に、家庭学習指導が挙げられている。ここでは家庭学習、宿題と自主学習の状況を教師が必ず見とり、手を入れ子どもに返すことの重要性が示されている。最後に１２ページのイ、学校に対する質問紙調査結果についてである。小学校で良好であった項目は、放課後の補足的な学習サポート、授業におけるＩＣＴ活用である。１３ページの中学校で良好な結果であった項目は、ＩＣＴを活用した課題発見・解決型の学習指導、教職員の研修参加及び自校への反映、言語活動に関する全教職員での話し合いであった。小学校・中学校ともＩＣＴ活用が充実してきている。本市では来年度までに全ての小中学校にタブレットを導入する予定であり、今後も活用する学校が増えることによって、児童生徒の学力向上にも繋がることと期待している。一方、課題となった項目としては１３ページ下段から１４ページに記載している。小学校で近隣の中学校との全国学力・学習状況調査の成果と課題の共有、講師を招聘した校内研修の実施があった。中学校では数学の授業における計算などの反復練習、調べたり文章を書いたりする家庭学習の取り組みについて課題がみられた。以上が平成２９年度全国学力・学習状況調査の結果であるが、私たちとしては３学期以降もブラッシュアップ研修を通じて、授業改善の取り組みを進めていきたいと考えている。

花里委員長： 何か質問はないか。

菘田委員： ２点質問する。１点目は資料１４ページの学校でテーマを決め講師を招聘するなどの校内研修を行っている学校が全国平均に比べ低いが、予算の関係であるのか。２点目は、１４ページの調査対象学年の生徒に対して家庭学習の取組としてとあるが、「はい」が天草市では０％である。子どもを見ているとこの様な宿題を持って帰ってきていると思うが、保護者が思う家庭学習と先生方がこれこそが該当する宿題だと思うことにずれがあるのではないか。

沢村学校教育課審議員： １点目の学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っているかについてであるが、結果としては低くなっている。講師招聘は、校内研修をだいたい週に１回水曜日の６校時に充てているが、この時に講師を天草市の指導主事であるとか、あるいは天草教育事務所の指導主事であるとか県の指導主事を呼んだりする学校もあるが、これまで私たちの感覚としてあまり講師招聘の依頼を受けたことはなかった。天草教育事務所では、毎年校内研修事業ということで講師招聘を募集し、可能な限り講師として出向している。今年度から私たちも校内研修に積極的に参加をさせていただきたいと校長会の折に話をしている。今年度は比較的、本市の指導主事が校内研修に呼ばれ、出席し

ている。アンケート結果は昨年度の調査結果である。昨年度は実感として講師招聘の依頼は少なかったが今年度は依頼が多くなっている。旅費の予算措置の有無の影響はないと考える。自分たちが自校でできると判断していたと考える。2点目の家庭学習の取組であるが、調べたり、文章を書いたりする宿題を与えましたかとのことであるが、中学校13校で0%である。教職員の意識の中でそういう課題を与えていなかったということであり、具体的にどのような課題が出されているのかは把握していないが、今後、このような課題が与えられていなかったということであれば、再度学校に啓発をしなければならない。学校訪問の折に、家庭学習について指導を行っているが、これまでが定着がなされなかったということで反省している。課題を出していないということではなく、基礎・基本の定着が家庭学習の中心になっていると私は考えている。

蓑田委員：先生方から出していただいている宿題の量は子ども達には丁度良いようで、時には苦労しながら、時には早く済んで自分の時間を持ったりバランスを保ちながら、まず宿題忘れをしないようにやって学校生活をおくっている。

木下委員：自分の感想を述べさせていただく。まず、各学校で問題が発生していたが、無事に2学期が終わって良かった。それから、子供たちの活躍も大いにあり、全国大会や九州大会などに出場し子供たちの活躍を見ることができた。さらに先日は熊日学童スケッチ展の表彰が新聞に掲載されていたが、見てみると天草の子供たちが沢山表彰されており、学校の取組に感謝したいと思いながら新聞を読んだ。全国学力・学習状況調査では確かに学校教育課長が報告されたように、中学校数学A・Bが全国平均を下回っている。しかし、去年の状況と比べてみると数学Bについては回復状況にある。そして、何より小学校では去年の平均値より大幅に向上し、算数Aの伸びには素晴らしいものがある。

それから質問紙調査で良好な項目を見てみると、天草市教育委員会が力を入れている取組が良い結果として出ている。例えば、1点目がめあてやまとめの板書化、2点目が自分で課題を立てて調べたことを発表する。3点目が授業の中での話し合い活動。4点目がICT機器の活用である。学校訪問時に指導主事が各学校に伝えていることが良い結果に繋がっていると結果を見て感じた。そして、学校図書館の利用についてであるが、牛深小学校に学校訪問に行った際、学校司書と話しをする機会があった。夏休みに司書6人が集まり、集中して1週間学校の図書室の本を全てバーコード化したという話を聞いた。バーコード化することによって本の貸し出しが簡単になり本の貸し出し数が伸び、苦労が報われたとのことであった。その様なことを頭に入れて質問紙調査を見てみると、小学校の図書室利用の平均が全国平均より良かったことを嬉しく思った。天草市教育委員会では先生方の授業改善に向け今年からブラッシュアップ研修や経営訪問時の授業指導等も良く行われている。各学校の課題については、職員で共有をして基礎・基本の定着に向けて、課題解決に向かって頑張っていたいただきたい。

花里委員長：継続することが大切である。それぞれの学校にはそれぞれの課題がある。それぞれの学校の教職員がいかに取り組んでいくのが重要である。

## (2) 教育力活性化推進大会の開催について

菅原生涯学習課長：本日配布した資料をお願いします。昨年度は社会を明るくする運動と教育力活性化推進大会を同日に行ったが、今年度は社会を明るくする運動と青少年育成運動を同日に行い、この教育力活性化推進大会を後日開催すると以前から説明させていただいていた。来年の2月10日(土)に開催し、場所は牛深総合センター大ホール、参加者は記載のとおりである。内容及び日程であるが時間は午後1時から4時10分までを予定している。オープニングについては、牛深小学校の在校生を中心とした魚貫住吉神社の「塩振り踊り」を予定している。開会行事の後実践発表を行うこととし、河浦小学校の歯と口の健康づくりの取組について、今年度優秀な成績をおさめたので児童及び教員で発表してもらおう。次に新和中学校の企業体験推進事業の取組について1年生が天

草活性化プランを発表する予定である。3番目に天草拓心高校の地域資源を活用した教育の取組であるが、現在、株式会社デンソーが天草市で事業を操業しており、地元の資源を使って地域産業の活性化に繋げる取組を発表する。その後講演を予定しており、第9期中教審委員をされていた生重幸恵さんに講師をお願いしている。現時点での演題は未定であるが、今回の大会は地域学校協働活動をテーマに開催するため、それに合った内容で講演していただく。なお、司会は牛深高校の生徒にお願いすることとしている。詳細については、資料裏面に記載しているのでご覧いただきたい。

### (3) 学校統合に係る協議結果について

柴田教育総務課長：資料15ページをお願いする。本年度末に学校統合を行う本渡東地区及び有明地区については、それぞれの地区に学校統合推進協議会及び学校統合準備委員会を設置し検討協議を行ってきた。本渡東地区については11月28日、有明地区については11月30日に最終の学校統合推進協議会を開催し、学校統合にあたっての必要事項の決定並びに承認を受けたため協議結果の報告をする。まず、本渡東小学校の協議結果であるが、校歌・校章・標準服及び体育服については、金焼小学校及び下浦第一小学校の2校が統合し現在の本渡東小学校となる際に、既に学校統合推進協議会において決定されていたため、現在使用されている本渡東小学校の校歌等をそのまま使用することになる。スクールバスについては、資料16ページに記載している。運行路線は間伏便と金焼便の2路線を中型バス2台で運行する予定で、運行に要する時間は約30分を見込んでいる。なお、利用者数は間伏便が志柿小学校の児童全員及び瀬戸小学校児童の一部の合計27人、金焼便は本渡東小学校の児童の一部の合計26人を見込んでいる。資料15ページをお願いする。PTA会則等については統合準備委員会で原案を作成し、来年度開催される本渡東小学校第1回PTA総会で諮られ承認を得ることとなる。

資料17ページをお願いする。有明小学校関係の協議結果である。まず、校歌は準備委員会において委員の知り合いをお願いしてはどうかとの意見もあったが、正式に依頼するまでには至らず事務局一任となったため、有明支所と協議を行い、有明町出身で平成音楽大学講師の別城博士氏に校歌の作詞・作曲を依頼した。歌詞については、資料18ページ下段に記載している。本日完成した校歌を委員にお聴きいただきたい。(校歌が流される。)次に校章についてであるが、準備委員会において有明地区全世帯を対象に公募を行い、応募作品から採用すると方針を決められたため、校章応募用紙を有明地区全世帯に配布及び有明地区の小中学校にも応募依頼を行った。その結果、130点の応募があり準備委員会等で選考を行い、校章として採用決定したものが資料18ページ上段に記載している。この作品に込められた思い等については、資料17ページの校章の欄に記載しているとおり、波は有明の海と力強い子ども達をイメージし、波を8本にして有明特産のタコの足を表しているとのことである。また、宙に浮くオレンジの球は有明特産のミカンと夕日をイメージするとともに、有明7地区の子供たちをも表しているとのことである。採用された作品は、有明町上津浦の川田氏のものである。次に標準服及び体育服においては、準備委員会の会場に見本を取り寄せ検討を行い、可能な限り保護者の負担にならないようにとの方針により、17ページに記載のとおり決定されたところである。次にスクールバスの運行についてであるが、資料19～20ページをお願いする。運行路線では、有明小学校東側の地区を2路線、西側地区を3路線の計5路線を設定し中型バス5台により運行することに決定している。運行時間は路線により異なるが、20分から30分を見込んでいる。利用者数は小学校東側で55人、西側で96人となる見込みである。次にPTA会則等については、統合準備委員会で原案が作成され、来年度開催される有明小学校第1回PTA総会に諮られ承認を受ける予定である。以上がそれぞれの地区において組織した統合準備委員会及び統合推進協議会での協議結

果である。

引き続き資料2 1ページをお願いします。1 1月定例会の折には日程のみをお知らせしていた本年度開催する小学校の閉校式の実施計画である。1月28日、2月4日、2月18日、2月25日に計5会場で閉校式を行う。この閉校式は、学校の設置者である天草市と本市教育委員会が主催して実施する。閉校式は4の式次第のとおり所要時間45分程度で終了する。また、これとは別に各小学校の閉校実行委員会が主催して行われる閉校記念式典への案内状についても、本日まで預かった分についてはお配りしている。

なお、準備の都合があるため閉校式への出欠について本日確認させていただきたい。数年前に複数校統合した時の状況を確認したところ、教育委員2名出席で対応させていただいたので、各校2名の参加をお願いしたい。

花里委員長： 何か質問はないか。

菘田委員： スクールバス運行での長期休業中のプール便については良い取組だと思うが、スクールバスを運行している他校でもこの取組はされているのか。五和小学校では聞いたことがないが。

山本学校教育課長： 夏休み期間中にプールを開放している学校では運行している。

花里委員長： 本渡東地区も有明地区も路線バスは時間的に運行していると思うが、路線バスとの併用は考えていないのか。

山本学校教育課長： スクールバスの運行については、統廃合の検討をする中で統合準備委員会に提案をし決定されている。天草市以外の市町村では路線バスの本数が多いところは対応している。本市においても市町合併前に統合された稜南中学校で

は路線バスを利用している事例があるが、市町合併後に統合された学校については、通学距離によってスクールバスを運行することとしている。

花里委員長： 稜南中学校の様子を見てみると、路線バスを利用した方がかえって便利で、生徒も利便性があると思う。路線バスが便利なところは利用してもいいのではないかと思ったところである。

#### (4) 平成30年1月行事予定について

柴田教育総務課長： 資料2 2ページをお願いします。1月の行事予定を掲載している。1月3日(水)に6地区で成人式が開催され、翌4日には3地区で成人式が開催される。15日(月)には熊本県市町村教育委員研修大会が県庁地下大会議室で開催される。26日(金)には佐伊津小学校研究発表大会が、28日(日)には大楠小学校閉校式が開催される。30日(火)には河浦中学校研究発表大会が開催される。最後に1月の教育委員会定例会についてであるが、この予定表には19日(金)の14時から五和農業情報センターで開催すると記載しているが、この19日の同時間帯に市の総合政策審議会が開催されることが資料を作成し発送した後に通知があった。総合政策審議会に部長をはじめ各課長も出席を求められている。そのため19日の午前9時から定例会を開催させていただきたい。

## 6 その他

花里委員長： その他であるが、何かないか。

川端学校給食課長： 2点お願いと報告をする。1点目は配布している学校給食週間のふれあい給食についてである。例年1月24日から1月30日まで全国学校給食週間で、この間各学校に委員の皆さんに出向いていただき、子供たちと一緒に給食を食べていただいている。今年度も計画し、1月24日に市長・副市長・教育委員にお願いすることとしている。この日が都合悪ければ、日程調整させていただきたい。2点目であるが、栖本学校給食センターの調理業務等民間委託である。11月30日から12月6日までの1週間募集を行い2業者より応募があった。1社は現在、牛深・御所浦・五和を受注しているアト・み

らである。もう1社は新しくこのために会社を立ち上げられたワーカーパレス天草である。12月11日に第1回の選定委員会を開催し、資格審査及び書類審査を行った。第2回選定委員会を来年1月17日に予定しており、プレゼンテーション及びヒアリングを行い決定することになる。

花里委員長：他に何かないか。

森下教育部長：先週12月22日（金）に第4回市議会定例会が終わった。一般質問の概要についての詳細は次回の教育委員会で報告をさせていただくが、簡単に説明する。12月13日の教育厚生委員会は議案がなかったため開催されなかったが、本渡東小学校及び有明小学校の校舎が完成したため、議員に見学をしていただいた。しかし、教育委員の皆さんに見学してもらっていないため、見学についての日程を調整したい。また、一般質問の中で若山議員が教職員の働き方改革ということで教職員の負担軽減について大きく2点質問された。1点目、タイムカードの導入について質問があり、答弁するにあたり市長ヒアリングがあり、栖本中学校が独自にタイムカードを導入しており、教職員の意識に変化が起きているとのことであったので年度内に全校にタイムカードを導入すると答弁を行った。2点目、給食費徴収業務が教職員の負担となっているため、公会計化ができないかとの質問がされた。市長が平成31年度から公会計化が実施できるよう取組を進めてみようとのことであったので、平成31年度を目標に公会計化の取組を進めていきたいと答弁した。以上、タイムカードの導入と学校給食の公会計化の2点新たな取り組みについて答弁した。

花里委員長：教職員の働き方改革については新聞等で報道されている。どの様にすれば良いのかとも思っている。一般の公務員と同じように時間外勤務手当を支給するのが良いのか、現状のままで良いのか。難しい問題である。現場の教職員はどう思っているのか。

沢村学校教育課審議員：教職員の場合は時間外勤務手当の支給はない。その代りというわけではないが給料月額4%が加算されている。この4%は削減することは無いと思っている。時間外勤務をできるだけ少なくしてもらった方が教職員は助かると思う。小学校の教員については部活動がなくなるため、早く帰れる環境になる。しかし、中学校は課題が残る。部活動規約を全ての中学校が守ることを徹底すれば時間外の負担は軽減される。

花里委員長：他に何かないか。

菅原生涯学習課長：2点報告させていただく。まず、天草市立中央図書館会館40周年記念イベントについてである。昨年は読書フェスティバルとしてさかなクンを招聘し開催した。今回はワークショップの形をとったものを開催する予定である。開催は平成30年2月4日に市民センター展示ホールで午前・午後の部に分けて行う。講師は原ゆたか氏で「かいけつゾロリ」の作者で子ども達に大人気の方である。実際に絵を描かせるワークショップである。参加者は100人程度を予定している。講師がこの様な形で行いたいということ、

また、講師との日程調整が先日終わり本日報告させていただいた。参加対象者は小学生としているが、その保護者も参加できる。講師の原ゆたか氏のプロフィールについては資料記載のとおりである。次に成人式への出席についてである。1月3日の天草地区、河浦地区及び1月4日の五和地区の3地区については当初教育長が出席予定であったが、出席できなくなったため表のとおり各委員に主催者挨拶をお願いしたい。よろしく願います。

花里委員長：他に何かないか。

柴田教育総務課長：先ほど少し話をした平成30年1月15日に開催される熊本県市町村教育委員会大会についてであるが、出席についてお伺いしたい。後日、集合時間等はお知らせすることとしているが、予定としては当日午前9時30分市役所駐車場に集合していただき出発することとしている。この大会で黒鶴委員長職務代理者が永年勤続による表彰を受けられる。

小学校の閉校式について説明不足であった。五和及び牛深地区で学校統合がなされた時期には毎週のように閉校式が開催されていた。その時の対応は教育委員2名の出席をお願いしていた。閉校式は本来であれば市と教育委員会の主催であるが、大変でもあるので今回もそれぞれ2名の出席をお願いしたい。

花里委員長：他に何かないか。なければ以上をもって、本日の会議を閉じる。大変お疲れ様でした。



平成29年12月25日開催の天草市教育委員会定例会の議事の顛末は以上のおり相違ありません。

・ 委 員 長

・ 委員長職務代理者

・ 委 員

・ 委 員

・ 委 員

・ 教 育 長

・ 調 製 者